

# R3 年度事業報告

## 認定こども園百華保育園

### 1. 概要

定員の75名のところ年度当初68名から最終的に71名と一年を通して定員割れであった。認定こども園になったことにより、1号認定幼児（幼稚園部）が受け入れ可能となった。4月から2名、その後8月、10月、1月と受入れや在園児の変更により最終的に6名の1号認定児が在籍することとなり、その結果施設型給付費（旧委託料）収入も前年度より1264万円増額となった。正職員の退職、育休取得による欠員は、派遣やパート保育教諭で補い順調に運営されたものの、1歳児クラスは不慣れな派遣職員や新人を配置したことで、日々の小さなケガや持ち物の入れ間違いなどが続き、保護者の信頼を失う結果となってしまったことや、担当制で安心感のある保育を目指していたものの、子ども達も落ち着かない一年となりベテランを配置するべきであったと反省している。

実習生受入れを積極的に行い、前年度専門講師の研修を受けたものが中心となり対応しオリエンテーションなどで意見を聞きながら実習することができ、実習生の満足した声を聴くことができた。見学や体験を受け入れて新卒1名の獲得につながった。

子どもの主体性を引き出す保育を日々目指し進めているがコロナ禍で行事の持ち方を見直したことにより、見せる行事、行事のための保育から、日々の子どもの様子を見てもらう行事、子ども主体の保育といった方向に一層職員の意識が向いていく結果となった。

職員の処遇面では、前年度土曜日出勤を4チームに増やしたところであったが、昨年从他園同様土曜保育の利用を勤務のみとしたことで利用者が減少してきたため、5チームに編成しなおし、平日の指定休をとることなく112日の休日を取ることができた。有給取得は個人差が大きいが取得を促し全員が5日以上取得できた。

1月末の新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したことは、給食時や職員休憩室について、早くに対策を取らなかったことが反省としてあげられる。給食時は職員は交代で職員室にて黙食し子どものいるところでマスクを外すことは無い状態とし、その後は感染者はない。

### 2. 認定こども園百華保育園運営実績

定員75名

R4. 3.31

クラス名	百組（1号）	華組（1号）	保組（1号）	育組（1号）	慶組	真組	合計
年齢	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	
人数	15名（1）	15名（1）	11名（2）	12名（2）	12名	6名	71名（6）

### 3. 保育・教育目標

昼間保護者の保育のかける乳児に対し、心身ともに健全な発育を遂げるよう、家庭と園とが

常に連携、協力して保育する。

特に安全に留意し、情緒の安定をはかる。

- 重点目標
- ◎仏様に手を合わせ、ありがとうのいえる子ども
  - ◎健康で明るく生活力のある子ども
  - ◎優しく、思いやりがあり人を大切にする子ども
  - ◎自然を愛し、豊かな感性を持った子ども
  - ◎思ったこと、感じたことを伝え合える子ども

#### 4. 特別保育事業実績

##### (1) 延長保育 4時から7時まで

	令和3年度	令和2年度	増減
全利用者延べ人数	10,071	10,751	△680
6時以降利用者延べ人数	551	1,127	△576

保育教諭 3名 パート保育補助 2名 看護師 1名 計6名で担当

##### (2) 未満時保育事業

1歳児3人に1人の職員配置 1歳児12名 担任4名 補助1名

##### (3) 障害児保育 市単独障害児保育促進事業対象児童 1名 発達支援（気になる子）対象児童 3名

#### 5. 一時預かり保育事業

年間利用者延べ人数 44名 (年間利用者数 7名)

#### 6. 園開放・・・5月から毎月2回(第2、4木曜日) 年間利用者延べ人数 親子36組

#### 7. その他の事業実績

世代間交流として、あやめ寮の希望で子ども達の歌や挨拶のDVDを届け、お返しに手作りのプレゼントをいただく交流の機会がもてた。

#### 8. 保育担当者

	園長	主幹	保育教諭	看護師	管理栄養士	調理師	保育補助	その他	合計
正職員	1	2	9		1	1			14
パート			7	1		1	5	2	17
派遣			3						3
合計	1	2	19	1	1	2	5	2	33

※3年度 採用 正職員 保育教諭 新卒1名

年度途中派遣から正職員保育教諭へ採用 1名

※ 3年度途中退職者（死亡） パート保育教諭1名

年度末退職者 正職員保育士 1名 パート保育士 1名

※ 保育士1名 育休明け5月復職

9. 苦情相談 特にありませんでした。

## 10. その他

① コロナ禍の各行事の開催について（前年度と同様）

- ・入園、進級式 新入園児親子と幼児組のみの参加とし短時間で終了した。
- ・親子遠足 バスという密閉空間に長時間いることになるため中止とし、子どものみ各クラス園バスで園外保育を実施した。
- ・運動会 幼児組のみの参加とし、保護者の観覧席を指定して行った。  
保護者・卒園児・未就園児参加は種目は無しとした。  
乳児組は、平日にミニ運動会として遊戯室で園児のみで実施、写真屋さんに来てもらい、写真販売のみ行った。
- ・お慶び会 幼児組のみ実施とし、クラスごとに入れ替え制で実施。  
観覧席は空間をあけ1家族2名に制限した。

今年度も保護者アンケートでは、各行事ともゆっくり見ることができて好評であったため、今後の開催の参考にしていく。

② 感染症対策（昨年度の対策に加えたところ）

- ・午前、午後に園内の手の触れるところを次亜塩素酸水にて消毒
- ・職員の給食は事務室にて黙食
- ・事務室の職員テーブルにアクリルパーテーションを設置
- ・年長クラスのみ、小学校にならない給食時は一方向に向けて黙食

※利用子どもについては、マスクをさせるや近づかない、給食時のパーテーション、無言で食べるなどといったことは、子どもへのストレスや発達への影響など弊害が大きい為行っていない。

③ ことばの教室

当園独自検査として就学にむけた言語聴覚士により「ことばの検査」を実施。構音訓練が必要な児3名に対し訓練を実施。正しい発音を獲得して卒園した。4歳児は1名継続中、ほぼ正常な発音になっている。